

2020年11月4日

各位

会社名 **TDCソフト株式会社**
 代表者名 代表取締役社長 小林 裕嘉
 (コード番号：4687 東証一部)
 問合せ先 執行役員経営企画本部長 上條 英樹
 (TEL：03-6730-8111)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ2020年5月20日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日) 通期連結予想及び配当予想について修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	27,800	2,250	2,310	1,540	63.90
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考) 2020年3月期 通期連結実績	27,795	2,206	2,265	1,500	62.29

2. 2021年3月期配当予想の修正

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月20日発表)		—	—
今回修正予想		24円	24円
当期実績	0円		
前期実績 (2020年3月期)	0円	24円	24円

3. 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、一部の案件において延伸または一時中断や、対面営業の制限等により受注活動にも影響が出たものの、web会議やテレワークに移行し、セミナーや教育サービスのオンライン化など、ニューノーマルに向けた取り組みを推進したことで、事業は安定的に推移していることから、現時点において入手可能な情報や予測等をもとに算定が可能となりましたので、通期連結業績予想を公表するものであります。

新型コロナウイルス感染症の影響により社会的にデジタル化の遅れが露呈したことで、デジタルトランスフォーメーションに向けたニーズは益々高まっており、当社グループにおけるデジタル化等の高付加価値SIサービスにおいても、計画を上回る進捗で高収益化を実現できていることから、今後についても、中期経営計画の方針を維持し、各種施策を着実に実行してまいります。

また、当社は経営基盤の充実と財務体質の強化を通じて企業価値の向上を図るとともに、株主に対する積極的な利益還元を行うことを基本方針としております。当期の配当予想につきましては、業績予想同様、未定としておりましたが、上記方針に基づき当期の業績を総合的に勘案し、期末配当予想を1株あたり24円とさせていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の今後の拡大状況や収束時期によっては、当社の業績に予期せぬ変動が生じる可能性があるため、引き続き今後の状況を注視するとともに、通期連結業績予想について開示すべき重要な事象等が生じた場合には速やかに公表いたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社グループとしてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上